

これからもお元気で!

敬老の日を前に、市長及び助役が100歳以上でご在宅のご長寿の方を訪問し、市からの祝い金や記念品を贈り、長寿をお祝いしました。市内では、寺門としさんが105歳で最高齢となります。



▲市内最高齢の寺門としさん(若林)

100歳	101歳	102歳	103歳	105歳
鴨志田モト(田子内町) 森戸 すす(石 沢) 藤末 きく(下 檜 沢)	蓮田 キノ(檜 山) 平塚 巳くり(上 小 瀬) 平澤 フテ(鷺 子)	菊池ウメノ(諸 沢) 増田 庄一(山 方) 長山 のぶ(野 口 平) 小野瀬くに(山 方)	内田 ソメ(小 舟) 木村 はる(西 野 内)	萩谷 しの(下 岩 瀬) 宮下キクノ(上伊勢畑)

市内100歳以上の皆さん
(敬称略。年齢は9月1日現在のものです)

同時に、今年度100歳を迎えられる方には、内閣総理大臣及び県知事からの褒状と記念品が贈られました。また、市内各地域ではご長寿の皆さんをお招きして、お祝いの会が催されました。

当日は、様々な演芸等を楽しみ、各会場賑やかな笑い声でいっぱいになりました。皆さんこれからもお元気で長生きをしてください。



◀ 緒川地域



◀ 山方地域



◀ 御前山地域



◀ 美和地域

御前山中学校で中高一貫教育
福祉の理解深める

9月15日、御前山中学校において、2年生46人が中高一貫教育連携校の県立小瀬高校の3年生13人と、総合的な学習の時間に福祉について学びました。テーマは「福祉について理解を深めよう」です。

授業の前半では、福祉について「調べ学習」をした中学生からの、視覚障害になる原因や、盲導犬と視覚障害者をつなぐハーネスについてなどの質問に、小瀬高の福祉コースで学ぶ生徒が答えました。

後半のブラインド体験やシニア体験では、小瀬高生の助けを受けながら、アイマスクや耳栓、利き手首おもりなどの装具を身に付け、視覚障害のある方や、動作が不自由になった高齢者の方の苦勞を体験し、その状況や気持ちについて理解を深めました。



▲様々な装具を付け、シニア体験をする中学生。肘や膝を曲げることも大変です。

ドキドキ づいっ
「夜のおはなし会」



8月24日、図書館で「夜のおはなし会」を開催し、35家族約120人が参加しました。

これは、図書館として初めての試みで、今年5月に発足した市の読み聞かせ連絡会の協力により実現したものです。

館内の照明を消した暗闇の中での怪談やファンタジックなお話に、子どもたちは物語の中に引き込まれていました。また、階段や廊下にちょうちんを設置し、怪人やゴリラ、大仏、長髪のお面などを飾り付けて、肝だめし体験も行いました。子どもたちは、いつもとは違う暗闇の図書情報館で、ちよつとこわい時間を味わっていました。

アジアの子どもたちへ 楽器の贈り物

アジアの子どもたちに楽器を贈る運動に市内の小学校が協力しています。

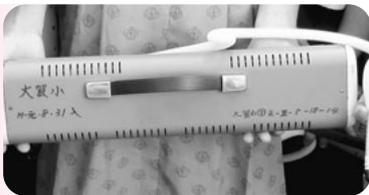
この運動は、NGO茨城の会が平成8年から始めたもので、これまでにアジア9ヶ国に届けられています。

水戸ユネスコ協会(NGO茨城の会の構成団体)の石川ていさん(野上)の呼びかけに応え、市内では旧長田小、大賀小、玉川小、大宮西小、山方南小、小瀬小、八里小などの学校が協力をしています。小瀬小学校ではこの運動に6年間継続して協力し、今年5月に、フィリピン共和国西ネグロス州のマラニオン州知事が来県された際、石川さんとともに感謝状が贈られました。

贈られた楽器の行方

今年8月、市内の方がNGO茨城の会の事業で関係の方々とともにネグロス島の学校を訪問した際、歓迎の演奏に使われていたピアノに「大賀小」の文字を見つけました。

贈られた楽器は、今でも大切に使われています。



生命の温もり肌で感じる

中学生 赤ちゃんふれあい体験



市では、中学3年生を対象にした赤ちゃんふれあい体験学習を実施しています。9月27日は、総合保健福祉センター「かがやき」において、美和中学校と大宮中学校の

生徒が参加し、乳児相談を受けている親子の協力により行われました。

生徒は、マタニティ体験として、お腹に重りを付けてお母さんの大変さを体験。また、赤ちゃんを抱っこしたり離乳食をあげるなどのお世話をしました。

生徒達は、はじめ恐る恐るといった感じでしたが、慣れてくると赤ちゃんをしつかりと抱きしめていました。温もりを肌で感じ、命の尊さや子を産む母親の大変さを実感していたようです。

また、この日はNHKの取材もあり、この様子は、11月19日午後9時から9時30分放送の「すくすく子育て」の中で放映されるそうです。

みんなキラリ

…シリーズ③男女共同参画

先月号から、常陸大宮市男女共同参画計画の5つの基本目標を基に、市が具体的に取り組みを行うものをご紹介します。今回は、基本目標Ⅱをご紹介します。

●基本目標Ⅱ

男女の自立を支える生活づくり

1 男女共同による育児の実現
男女が安心して子育てができるよう相談体制の充実や地域全体で子育てを支えあう環境づくりを進めていきます。

2 男女共同による介護と高齢者の自立支援
介護の負担は女性が担うことが多いため、男性の参画を促進し、家庭内の問題ではなく社会全体で支えあう取り組みとして、制度の普及と周知を進めていきます。

3 多様な生き方に対応した福祉の推進
様々な生活体系や家族形態に対応した福祉の充実を図るため、自立促進を基盤とした環境の整備を進めていきます。
また、障害のある人が男女を問わず多様なサービスの提供や相談支援体制の充実を求めているため、地域で暮らす、すべての人がそれぞれできることを行い、心の通い合う地域福祉を推進していきます。

4 生涯にわたる男女の健康づくり支援
女性は、男性と異なる健康上の問題に直面します。女性が生涯健康に過ごすためには、男女が正しい知識を持つことが必要です。
さらに、青少年の性と健康に関する問題も増加傾向にあるため、正しい知識や情報の普及に努めていきます。